

施策	5102 豊かな心及び健やかな体の育成						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市内小・中学生						
施策が目指す姿	道徳教育の充実、人権教育の推進、いじめ“0”（ゼロ）を目指した対策の推進、体力の向上、食育の推進等を図る。						
成果指標	不登校児数の出現率...平成29年度で1%未満 新体力テストの全国平均値に対する本市平均値...平成29年度で全国平均を上回る 児童生徒に対する食に関する指導回数...平成29年度で3,450回（現状値3,300回）						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		実績	0.93	1.24	1.30	1.32	1.65
	成果指標2 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標3 [回]	予定	600.00	3,300.00	3,350.00	3,400.00	3,450.00
		実績	3,194.00	4,547.00	5,302.00	5,961.00	6,224.00
		単位コスト	477.28	429.09	266.32	246.48	246.42
	成果指標4 []	予定					
実績							
単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定	1,716,691	2,001,471	1,451,366	1,469,278	1,567,179	
	実績	1,524,431	1,951,073	1,412,036	1,469,278	1,533,746	
内 部 評 価	貢献度	上位基本施策の目標である「保護者の学校教育に対する満足度」の向上には、いじめ防止等対策や食育の推進などが必要であり、本単位施策の貢献度は高い。					
	達成状況	新体力テストの本市平均値と不登校出現率については、目標値に到達せず課題が残る結果となったが、食に関する指導回数については目標値を大幅に上回る結果となっている。					
	課題	新体力テストの全国平均値を下回っている小学生の体力を上げる取り組みの強化と、不登校出現率が上がっているため、各小学校及び教職員への指導等必要である。					
	取組方針	体力向上については、体育主任研修会等で取り組みの充実を図る。不登校対策については、児童生徒支援研修会や学校への指導訪問等で対応について意識の向上を図っていく。					
外 部 評 価	新体力テストについては、総合計画基本計画期間を通じて目標未達となっており、学力学習状況調査と同様に、課題の把握や改善策の検討に留まらず、種目別の結果や対策を分析し、学校や保護者などに対して周知を図るよう取組まれたい。 また、不登校児数の出現率の未達については、本市の深刻な問題ととらえ、早急な対策を講じられたい。 食育の指標である回数の結果だけでなく、その成果を内部評価のコメントで示されるようお願いするとともに、食育には地域や企業、農業者などを巻き込んだ取組みがなされることを期待したい。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	543201	学校給食事業費				965,975	100
	543301	学校給食調理業務民間委託費				370,720	100
	700501	学校給食食物アレルギー対応事業費				12,257	100
	745101	とちぎの地産地消給食推進事業費				10,389	100
	755601	吹上小学校給食共同調理場整備事業費				11,878	100
	534201	適応指導教室運営事業費				24,338	97
	734501	いじめ防止事業費				926	84
	540101	小学校保健事務費				62,695	1
	540401	小学校健康診断事業費				29,265	1
540501	中学校保健事務費				31,349	1	

平成29年度 単位 施策評価表 補表

施策	5102 豊かな心及び健やかな体の育成		
区分	妥当性	妥当	豊かな心と健やかな体の育成のため、必要な事業であり妥当である。
	コスト削減の余地	有	経常経費の削減が見込める。
	受益者負担	適正	受益者負担が必要なものは負担を求めており適正である。
	上位貢献度	有効	学校教育の充実のためには、児童生徒の心身の成長が不可欠であり有効である。
	類似事業の有無	無	類似の事業は無い。
	成果向上の余地	有	体力向上及び不登校児出現率に対する取組については、成果向上の余地がある。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	いじめ防止等の取組をはじめとした生命・人権を大切にする教育や、体力の向上及び食育の推進等により児童生徒の健全な成長が図られることから、上位基本施策の目標「保護者の学校教育に対する満足度」への貢献度は高い。	
	達成状況	食に関する指導回数については前年に引き続き目標を上回ることができたが、不登校児童の出現率は前年に続き増加となった。 体力向上については、走・跳・投の3種目の中で、50m走は全国平均と同等、ボール投げは全国平均をこえる学年もあり改善の傾向。立幅跳びは全国平均を下回っているものの上向き傾向である。	
	課題	全国平均を下回っている小学生の体力向上の取り組みの強化について、授業の充実等の必要がある。 不登校出現率の低下のため、不登校を未然に防ぐための取り組みと、家庭との連携が必要である。	
	取組方針	体力向上については体育の授業力向上をはじめ各学校における取組の充実を促すとともに、小中合同の体育主任研修会を開催、一貫性のある指導に努める。 不登校児数の出現率の増加については、不登校やいじめ等問題行動を未然に防止できるよう児童生徒支援研修会や学校への指導訪問等で教職員の意識向上を図るとともに、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等により相談体制の充実・活用を図る。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	いじめ防止等の取組をはじめとした生命・人権を大切にする教育や、体力の向上及び食育の推進等により児童生徒の健全な成長が図られることから、上位基本施策の目標「保護者の学校教育に対する満足度」への貢献度は高い。	
	達成状況	食に関する指導回数については、5年間すべて目標を上回ることができた。不登校の出現率は、年々増加傾向にある。体力の向上については、課題であった走・跳・投の3種目の中で、全国平均と同等またはこえる学年もあるなど、改善の傾向が見られる。	
	課題	全国平均を下回っている小学生の体力向上の取り組みの強化について、授業の充実等の必要がある。 不登校出現率の低下のため、不登校を未然に防ぐための取り組みと、家庭との連携が必要である。	
	取組方針	不登校児出現率については、児童支援研修会や指導訪問等で教職員の意識向上を図るとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を増員し、相談・支援体制の充実・活用を図る。	